

戦争・震災体験後世に

水戸高齢者
クラブ連合会
50周年記念誌配布へ



戦争や東日本大震災の記憶を後世に伝えようと、これらの体験談をまとめた水戸市高齢者クラブ連合会(山川庫会長)の「50周年記念誌」が完成した。会員の貴重な体験に加え、半世紀の歩みもつづられており、同会は市内の小中学校に配布し、授業などに役立ててもらおう考え。

高齢者の健康と生き 本大震災の記録」で7
がいくつ、地域奉仕 割近くを占める。会員
活動などに取り組む同 のほか、一般市民にも
会は1963年に設立 声を掛けて体験談を集
まれ、昨年12月に50周 めた。

年を迎えた。現在の会 戦争体験は95人が寄
員は約6千人に上る。 稿。出撃せずに生き残
記念誌は全290 った元特攻隊員でシベ
で、このうち「語り継 リア抑留経験者は「特
ぐ戦争体験」と「東日 攻はあつてはならない

残酷の極み」とし、抑 人が体験談を寄せ、揺
留での過酷な強制労働 れの恐ろしさや市内の
を振り返る。水戸空襲 被害の様子、助け合い
の体験者は命はどつに で感じた心の絆の大切
か助かったものの実家 さ、災害への備えの大
が焼け、「あの夜は忘 切さなどが記されてい
れられない」とつづ る。

戦争に関する用語解説 記念誌はB5判で1
も盛り込み、戦争を知 万5千部発行、このう
らない世代が読んでも ち1300部を市内の
理解しやすいように工 小中学校や市民センタ
夫された。 ー、市立図書館などの
震災をめぐっては31 教育・公共施設に配布
する予定。山川会長は

「戦争体験者はいずれ
いなくなるので、貴重
な本になる。教育現場
などでぜひ活用してほ
しい」と話している。

(今井俊太郎)